図 21.59 手掌足底線維腫症(palmoplantar fibro
matosis) 本例は手掌線維腫症(Dupuytren 拘縮)なので手打
が屈曲拘縮している.
図 21.60 鼻部線維性丘疹 (fibrous papule of the
nose)

図 21.61 後天性指趾被角線維腫 (acquired digital fibrokeratoma)

治療

初期の病変に対しては、ステロイド外用薬 ODT, 持続的圧 迫、ステロイド局注、トラニラスト内服が行われるが、難治で ある。病変が高度な場合や機能障害を伴う場合は、外科的に切 除した後に上記治療および放射線照射を試みる。

4. 手掌足底線維腫症 palmoplantar fibromatosis ★

手掌または足底の腱膜に硬い索状物が生じる,手掌腱膜,足底腱膜の増生による深在性の線維腫症である.進行すると屈曲拘縮をきたして有痛性になる.手掌線維腫症(Dupuytren 拘縮)は尺側に好発する(図 21.59).足底に生じた場合は Ledderhose病という.アルコール依存,糖尿病,てんかん患者に生じやすい.原因は不明であるが約半数に家族歴があり,遺伝的要因も示唆される.腱膜切除術やリハビリテーションを行う.

5. 真珠様陰茎小丘疹 pearly penile papule

陰茎の冠状溝に $1 \sim 3 \, \text{mm}$ 大のドーム状で白色調の丘疹が列序性に多発する. いわゆる血管線維腫で、生理的なものであるため病的意義はない. 女性の小陰唇にみるものを腟前庭乳頭症 (vestibular papillae of the vulva) という. 失圭コンジローマ (23 章 p.496) との鑑別を要する.

6. 鼻部線維性丘疹 fibrous papule of the nose

顔面や頸部に単発する,正常皮膚色から褐色,紅色で直径 10 mm 以下の硬めのドーム状丘疹 (図 21.60). 病理組織学的 に血管線維腫を呈する.

7. 後天性指趾被角線維腫 acquired digital fibrokeratoma

正常皮膚色で弾性硬,表面に過角化を伴い,ドーム状あるいは円筒状に突起した小結節(図 21.61). 指趾に好発し,まれに手掌足底に生じる. 結節性硬化症(20章 p.394参照)で爪囲に生じたものを Koenen 腫瘍という. 病理組織学的には過角化,膠原線維と線維芽細胞の増殖,および豊富な小血管を認める.

8. 弾性線維腫 elastofibroma

主に肩甲骨下部に左右両側性にドーム状ないし扁平な盤状の